

事業番号

5

令和5年度行政事業レビューシート				(人事院)								
事業名	研修の実施			担当部局庁	-	作成責任者						
事業開始年度	昭和38年度	事業終了 (予定)年度	終了予定なし	担当課室	公務員研修所教務部	部長 石水 修						
会計区分	一般会計											
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	国家公務員法第70条の6第1項第1号、人事院規則10-14			関係する 計画、通知等	令和4年度研修実施計画							
政策	-			主要経費	その他の事項経費							
施策	-											
政策体系・評価書URL	-											
事業の目的 (5行程度以内)	本府省において主に政策立案に従事する(従事することが想定される)新規採用職員、3年目係員、係長、課長補佐及び課長級以上の各階層の職員を対象として、省庁間横断の研修を行うことにより、国民全体の奉仕者としての使命感の徹底、職員の能力及び資質の向上を図るとともに、研修員間の相互理解・信頼関係を醸成し、セクショナリズムの弊害の排除に資する。											
現状・課題 (5行程度以内)	令和4年度の人事院勧告の際の「公務員人事管理に関する報告」内において、研修については、職場での人材育成を補完し、各役職段階での能力発揮など、様々な場面で職業生活を支える重要なものであるとの認識のもと、人事院としては、多様で効果的な研修を幅広く提供し、有為な人材の育成を促進していくこととしている。											
事業概要 (5行程度以内)	新規採用者から課長級以上の職員まで省庁間横断の階層別研修を、合宿、通勤又はオンライン方式により3日間～5週間で実施した。研修カリキュラムは、公務員倫理や行政の在り方など国民全体の奉仕者としての使命と職責について考える科目、政策課題研究などの公共政策の在り方を多角的に検証し考える科目、リーダーシップやマネジメントなど公正な行政運営について学ぶ科目で構成し、研修員相互のグループ討議や意見交換などを重視。											
事業概要URL	https://www.jinji.go.jp/kensyusyo/kensyu/gaiyo.html											
実施方法	直接実施											
予算額・ 執行額 (単位:百万円) (インプット)	予算の 状況	当初予算(A)	令和2年度	127	令和3年度	129	令和4年度	129	令和5年度	131	令和6年度要求	147.1
		補正予算(B)		▲ 56		-		-		-		
		前年度から繰越し(C)		-		-		-		-		-
		翌年度へ繰越し(D)		-		-		-		-		-
		予備費等(E)		-		-		-		-		-
		計(F) =(A)+(B)+(C)+(D)+(E)		71		129		129		131		147.1
	執行額(G)		21		14		49.8					
	執行率(%) =(G)/(F)		30%		11%		39%					
当初予算+補正予算に対する執行額の 割合(%) =(G)/[(A)+(B)]		30%		11%		39%						
令和5・6年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算項・目		令和5年度当初予算	令和6年度要求	主な増減理由(・要望額・予備費)							
	(項)	人事院			【主な増減理由】 増額については、地方自治体実地体験及びNPO法人等における実地体験研修の推進。減額についてはオンライン研修実施による研修員にかかる旅費所の要額の見直し 【要望額】 研修所庁費:19百万円							
	(目)	職員旅費	86	83								
	(目)	研修所庁費	25	44								
	(目)	諸謝金	18	18								
	(目)	講師等旅費	2	2								
	計(A)	131	147.1									

活動内容① (アクティビティ)	各府省の行政運営の中核を担うことが期待される職員等を対象として役職段階別研修(行政研修)を実施									
↓										
活動目標及び活動実績① (アウトプット)	活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込	
	行政研修への参加	研修実施回数及び修了者数	活動実績	コース(人)	33(2,043)	42(3,662)	41(3,540)	-	-	
			当初見込み	コース	42	42	42	42	42	
↓	成果目標①-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)	上記「事業の目標」に記載した研修の目的を果たすため、できる限り多くの対象職員等の受講機会を確保するため、行政研修の実施回数を短期的な目標に設定した。								
成果目標及び成果実績①-1 (短期アウトカム)	成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 年度		
	全体の奉仕者としての使命感の向上、資質・能力の向上、相互の信頼関係の醸成(研修)	-	成果実績	-	-	-	-	-		
			目標値	-	-	-	-	-		
			達成度	%	-	-	-	-		
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績	行政研修においては、各府省の行政運営の中核を担うことが期待される職員(幹部要員)を対象に、役職段階別に、全体の奉仕者としての使命感の向上、広い視野や柔軟な発想等、国民の視点に立つために求められる資質・能力の向上、国家公務員と協力して施策を行うための相互の信頼関係の醸成を基本的な目的として実施していることから本事業の効果のみを測定する定量的な成果指標を設定することは困難。なお、各府省と連携しながら、効果的な行政研修の実施を行った結果、各府省の研修担当官会議等での意見聴取によれば、概ね想定どおりの研修効果を上げることが出来ていると評価されている。									
↓	成果目標①-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)									
成果目標及び成果実績①-2 (中期アウトカム)	成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 年度		
			成果実績							
			目標値							
			達成度	%	-	-	-	-		
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績	-									
↓	成果目標①-3の 設定理由 (長期アウトカム へのつながり)	行政研修の実施に当たっては、本事業の目的である、国民全体の奉仕者としての使命感の徹底、職員能力及び資質の向上を図るとともに、研修員間の相互理解・信頼関係を醸成に結びつくようなカリキュラムを工夫実施しているところ。研修効果の測定として実際に研修を受講した研修員の意見を徴し、「研修が有意義であった」とする者の割合を95%以上とすることを最終的な目標に設定した。								
成果目標及び成果実績①-3 (長期アウトカム)	成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 年度		
	研修を有意義であったとした者の割合を95%以上にする	研修受講者個人に対するアンケートを基に行政研修ごとに算出した割合の平均値	成果実績	%	95.9	98	97.4			
			目標値	%	95	95	95			
			達成度	%	100.9	103.2	102.5	-		
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績	実施した各行政研修の研修員が提出した意見調査票(満足度等の意見聴取)									
アウトカム設定について の説明	アクティビティ①について定性的なアウトカムを設定している理由									
	本事業は、全体の奉仕者としての使命感の向上、資質・能力の向上、相互の信頼関係の醸成を行うためのものであり、この成果を反映する定量的な指標を設定することは困難。									
	アクティビティ①についてアウトカムが複数設定できない理由									

事業に関連するKPIが定められている開議決定等	名称	-			
	URL	-			
	該当箇所	-			
事業所管部局による点検・改善					
点検結果	<p>国費投入の必要性については、府省庁等の垣根を越えて全体の奉仕者としての公務員に必要な資質や政策立案能力を涵養していく上では、中立公正な中央人事行政機関である人事院が合同研修を実施することに意義があると考えため妥当と考える。</p> <p>事業の効率性については、研修施設のキャパシティを最大限に生かしてより多くの研修コースを効率的に実施出来るよう年間計画を策定するとともに、研修効果が最大限図られるような合理的なカリキュラムを構成し、随時見直しを行うなど効率的に事業運営を行っていると考え。</p> <p>事業の有効性については、公務員研修所及び西ヶ原研修合同庁舎を有効に活用して計画的に多くの研修コースを効率的に実施している。また、限られた予算の範囲内で各界の優れた講師を招くとともに、各府省の協力も得ながら効果的に研修を実施できている。研修受講者の満足度は極めて高くなっているおり、測定指標も順調に推移していることから、十分な研修効果を挙げていると考える。</p>			目標年度における効果測定に関する評価(令和〇年度実施) <p style="text-align: center;">該当なし</p>	
	改善の方向性	<p>研修の実施方法について合宿、通勤又はオンラインの各課程を設定し、参加を希望する研修員が参加しやすいようにすることで、より多くの研修員の参加を得るとともに、参加者の満足度を高めるなど、事業の目的を達成するための効果的な研修の実施方法を検討し、より効率的に予算を執行していくこととする。</p>			
外部有識者の所見					
※ 外部有識者による点検の対象外の事業					
行政事業レビュー推進チームの所見に至る過程及び所見					
現状通り	<p>研修実施事業について、研修内容を常に確認しつつ、引き続き効果的・効率的な事業の実施に努めることとし、効率的に執行した実績を概算要求に適切に反映させること。</p>				
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
現状通り	<p>事業全体の改善や効率化を検討して効果的・効率的な事業の実施に努めるとともに、執行実績に見合う予算計上となるよう努める。</p>				
備考					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
平成23年度	-				
平成24年度	4				
平成25年度	4				
平成26年度	4				
平成27年度	4				
平成28年度	4				
平成29年度	4				
平成30年度	5				
令和元年度	5				
令和2年度	5				
令和3年度	6				
令和4年度	5				

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
 (単位:百万円)

人事院
49.8百万円

【一般競争契約(最低価格)等】

A.(株)美杉観光バスほか 1.1百万円
 (研修実施にかかる借料)

【随意契約(公券)等】

B.(公財)福島県観光物産交流協会ほか 17.1百万円
 (現場研修等の外部委託費)

【謝金】

C.個人ほか 6.9百万円
 (研修実施にかかる講師等謝金)

【随意契約(少額)等】

D.明治堂印刷(株) 0.4百万円
 (研修にかかる印刷製本費)

E.事務費 24.3百万円

(研修実施に係る会議費、講義録作業代、現場研修の旅費等)

費目・使途
 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

A.(株)美杉観光バス			B.(公財)福島県観光物産交流協会		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
借料及び損料	3年目フォローアップ研修にかかるバス借上代	1	雑役務費	初任行政研修福島県「被災地訪問」実施委託費	10
			雑役務費	行政研修(課長級)「現地」実施委託費	0.7
計		1	計		10.7
C.			D.明治堂印刷(株)		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	※個人のため割愛		印刷製本費	「令和3年度初任行政研修実施結果報告書」印刷代	0.2
			印刷製本費	「令和4年度初任行政研修実施結果報告書」印刷代	0.2
計		0	計		0.4
E.					
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	※金額が少額のため割愛				
計		0	計		0

